

平成 25 年 12 月 28 日発行
第 182 号

康寿診報

編集 / 発行 医療法人社団 康寿会 加藤内科医院

〒421-0301 静岡県榛原郡吉田町住吉 303-1

Tel : (0548)32-0701 緊急用 : 090-1758-1712 Fax : (0548)32-1280

「己・家族・地域の命は自らまもる」～「人の義 医師の義」～《その 》

一「勇気・自信を 自負する人間。形成を 成し、“師”“友”を 大切に、“事”を 実す力を 育み、起こし、成す一

私は愕き疲れている。組織のトップ 為政者が偽善者であり、過去を顧みる“事”を 何処まで促し訂正を求め、過去の経緯 3年5年10年 経過した。「私 加藤寿夫の人生の 一角」これが こんな“事”で経過したと云うのが 事実である。“悔しい想い半分”是は嘘偽り無い 己加藤寿夫の「本性を 曝け出して 申す想い」、未熟な己の“器” 顧[=省]み、矢張り 悔しく、三日程 寝ぬ時を 過ごした。

誤魔化し、まやかしの蔓延した継続、「成す事・鑑みる事」を 処すまま具体的に申し、ても 聴こえぬ・意識して無視しているのか、“術”無く無動なのか？ こんな世界、未来・将来を語る事 そして「動」の“姿”が“皆無”、話し合い・交渉事“皆無”、「総論は其れ成り 各論無し“皆無”」、組織は衰退・疲弊し破局に向かう事、手遅れであります。誰も 私 加藤寿夫の言動に 振り向かない、榛南地区の為政者が “動”の姿勢無く 案ずるは終り、可能な限りの 回避・打破の為に「成す事を成す“道”を歩む”事”。

書籍 [仮名: Yellow Card [出版発行は平成26年2月27日(木)] 不備無き様 榛原医師会・行政に周知し、私 加藤寿夫の “師” “友”と 多くを語り、昨日 平成25年12月27日(金) 発行準備完了に 至りました。

最終的に 過去3年5年10年の経緯・経過 総括し、榛原医師会現会長 高木平氏に申した内容、本紙 [康寿診報第182号P2,3]に 編集・提示 確認下さい、「Yellow Card」最後の言葉の後に 掲載します。

更に 本年 2013 [平成25]年 最終の榛原医師会執行部宛の“書”とし下記 を示し、「各論を提示し “事”を成す組織」を 願いました。会長 高木平氏 本人は無論 執行部からも 音沙汰無し状況です。

平成25年12月25日(水) 榛原医師会執行部・事務局宛 書面 [No.54 (榛原医師会執行部)・No.108 (事務局)]より抜粋

榛原医師会 特に 会長 高木平氏の今の姿 「総論のみで各論無し」、近未来 来年2014 [平成26]年 医療・介護・福祉の問題 話し合い・交渉事を“確”と成さなければ 「行政の責任転換 これを黙秘」する事と成ります。即刻 「各論とし 場合により住民の “命”を奪う 「ヨウ化カリの備蓄のあり方」 「予防接種の補助・予診表配付のあり方」等 行政に進言 行政に申し入れ “事”成す 内容・各論」を受け入れさせる事、榛原医師会 会長・執行部の 「組織の “責”とし “事”に処して “事”を 成していきませんか？」と 問い続けて来ました。

過去の総括とし纏めた“事”、私 加藤寿夫の申した“書”の所在・存在 隠蔽・誤魔化す事無く、オープンに「議」を成し 早急に 処す事、榛原医師会 執行部の“責”とし 願います。

まずは、先月 平成25年11月6日(水)昼 本院カンファレンスの席に於き 牧之原市長 西原茂樹氏に 直訴した内容、この事 周知徹底 願えましたか？ この[CD-R]は 書籍として 実名・事実にて公開の 私の書籍に於いて 音声として添付します。

さらに 昨年 2012 [平成24]年7月13日 副会長 赤堀彰夫氏 事務局長 増田薫氏との面談に於いての約束事、不履行・反故の 状況 最近の榛原医師会事務局の対応 余りにも出鱈目・不誠実な電話での対応、これらにつき 「相手方に “責”の在り方を認識させる」ため 録音する事を告げた上 記録された内容」につき 提示します。何百回の問い掛け “書”により訂正を促がすも 応じない状況につき、これらの記録 「公」に発し 訂正を求め、心積です。問題あれば 具体的にお伝え下さい、これらは 第二弾 平成26年2月27日(木)発行予定の 私の書籍 これ以降に於き 音声とし添付します。第一弾の発行日は 平成25年12月27日(金)発行予定 出版し書店に並ぶのは 平成26年1月下旬 予定です。

なお 私の初版の“書” 内分泌代謝科・糖尿病専門医としての“業” 「糖尿病のABC」が書店に並ぶのは 平成26年1月上旬です。一月の榛原医師会広報では 是非紹介いただきたく考えております。次回 新年2014 [平成26]年1月10日(金)編集委員会は この紹介の願いの為にも 召集していただきたく考えております。責任者より 連絡下さい。

毎年申した事 「昨年 本年？ 同様の“事”が 来年 2014 [平成26]年 年末 無き様…」、私 加藤寿夫の “意” 提示の “書”、必至とし 伝達済の内容 受け留めていただきます。

来年 2014 [平成26]年 役員会・各委員会は無論 「議」が成される事、願います。

取り敢えず 添付の[CD-R] 執行部に周知の上 必要・必至の“事”を 成して下さい。

また・またも 事務局の行為により 拉致・監禁の状態ですが 「康寿診報」配付 完了させ 一報下さい、配付不可なら “責”をも つ者から 事由を“書”にし 即刻返却下さい。

《総括し 榛原医師会現会長 高木平氏に申した内容》

-最終的に 過去3年 5年 10年の経緯・経過 総括して 榛原医師会現会長 高木平氏に申した内容-

緊急・急ぎの内容です。Fax.にて送信します。本日 平成25年12月5日(木) 夜までに Fax.でも構いません。返事・返答 いただける様、即刻 高木平氏に 届けて下さい。

必要に応じ 会長 高木平氏より、副会長・正副議長には無論 執行部・役員会に出席の方々 裁定委員会・編集委員会等 各委員会の方々に 周知願います。隠蔽無く“確”と処して下さい

榛原医師会会長 高木平先生御机下

前略

過去 十年以上に及び、私 加藤寿夫が 貴方 高木平氏の人間性までを 問うて、“事” 細かに 噛み砕き 一つひとつの行動・言動、今 この時に「必要・必至の“事”とし、組織の“長” トップであれば 最低限 これは この“事”だけは「話し合い交渉事として 成して下さい...」と 申し立て・進言した“事”、貴方は 何一つ 聞き入れる事 出来ず、貴方に “動”の姿勢無く、「あの手・この手 総 投じて 全身・生霊 「事”を終結させよう」としても、遂には 己加藤寿夫の “想い”から さらに “情”から “念”まで “オール無視”されたと 解すべき“事”、私 加藤寿夫は 過去 数年を鑑み・想い返し 回顧し この様に解しております 宜しいですか...、この世で貴方は そこまで 私 加藤寿夫の 息しい[=活・生・行・(逝)]きる姿勢 “姿” 認め・受け入れて貰えぬとは、毎回 何百回・何千回に 及び 愕き・嘆きました。私 加藤寿夫の想い “意” 通じて無ければ、力不足は認め 容量・“器”は 今後 養います。今一度 私 加藤寿夫の “念” まで投げ おおくの“時”を割いた “書”、“想い” 通じるまで 読み返して下さい。貴方 高木平氏 人間性あれば 通じると 信じ、私 加藤寿夫の お袋 雅子のお告げ、この“優” “雅”で来た “事”、すべてを 拒否している今 最後通告とし 今一度 信じ 申します。

以下は 私 加藤寿夫の“師”とする方 三名に「「道標を示す」べく 云われた“事”」です。「己の成長の為には 何かを捨てる」お前 加藤寿夫は “優し過ぎ”だ!」、この一人 お袋 雅子を知る方には「ホント 雅子さん “お母さん譲り”だよな 「お前 寿夫 みたいな お人よ[=良?・好?・善?]し!」は いないぞ! 存在出来ないぞ!」「信ずる者は 救われる」と 信じたのは 山々だが、現実 己を殺す “自殺行為” “馬鹿”な事、もう少し 社会の現実 今のこの世に起こる事、現場の真実、相対する 相手の容量 “器”を知って 行動しろ」と “確”と申しただく事、自分 加藤寿夫には「解るような・分からぬような...」で あ[=在-有]るが...、まこと[=真・誠]に 感謝した。

「持つべき者は “師”であり “友”である。

「無言・隠蔽の継続」に 愕き “情” “念”まで 尽きました、己 加藤寿夫の “心”を 支えていたのは、お袋 加藤雅子の “情けの念” この おおくは “雅寿の文言”の申す内容そのものです。何千回にも及び 毎日の様に 己 加藤寿夫を 持ち直し・元気付けながら、今ある・存在した 己 加藤寿夫が 貴方 高木平氏に 直に申しました。

過去 数年来 何度も “猶予”し、貴方 高木平氏の 無言・隠蔽 無視・処さぬ“事”、これに 我慢・耐えの日々、胸に刻み 来ました。

しかし これ以上の “猶予”は一切 許さぬ事、己 加藤寿夫 心を“鬼”とし 云い利かせました。本年中 遅くとも 年末前まで 2013 [=平成25]年12月中旬 12月17日(火)までに、先ず

は 即刻 本日 平成 25 年 12 月 5 日 (木) 夜 忘年会前に “トップ” “長” とし、貴方が “人” “人間” “男” あれば 高木平氏 自身より、逃げ・隠蔽・誤魔化しの姿勢を捨て、直に 今直ぐ 即刻 連絡下さい。

私 己 加藤寿夫の すべては 貴方 高木平氏に 期待し 「告げた“事”、率直に “確” と 正確に申して来た “事” “確” と 処していただく所存です。高木平氏 組織の長・トップとしてはそこそこ、先ずは “己” “個” テメイの “姿”、 「『未来・後世』これを 見定め」、正確に “確” と 処して下さい。 「『組織の衰退』これ以上は 許されぬ “事” 」と “感” します。以上 己 加藤寿夫を 鬼と化し申します。

昨日 平成 25 年 12 月 4 日 (水) 夜は 私 加藤寿夫とは 常々 交流を持つ 慈恵会医大の 森豊先生の講演会が 島田大井神社 宮美殿で開催されました。我が 榛原医師会の 千正鎬先生の講演もありました。最近 勉強会等に出席されず 出不精に成っているようですが、このような会の意見交換会等で 貴方 高木平氏の 想い 私 加藤寿夫 「相對する “人” “人間” に対し 『お前 違おうだろう... 』との “意” 」 あれば “確” と 伝えて下さい。私 加藤寿夫の “意” は その時々を刻み 正確に “確” と 伝え、 “事” は 成しました。

先週 平成 25 年 11 月 27 日 (水) お伝えしましたが、毎週水曜日 昼 12:15 より 本院のカンファレンスです。吉田町 町長 田村典彦氏は 言語道断の状況ですが、牧之原市 市長 西原茂樹氏等とも同様、この時間に出向いていただければと 貴方 高木平氏を 想い 申します。この場で 榛原医師会の管轄する地区 特に榛南地区、この医療・介護・災害対策等、私 加藤寿夫が 個人的に申すとしか 貴方が受け止めぬ・留められぬ状況 この “事” で無く、本院職員 医療法人康寿会 加藤内科医院の 看護師・管理栄養士・事務員、さらに (株)はいやく 吉田薬局の 薬剤師・事務員が 現場で人と接する中 患者さん・地域住民への想い この “意” 「現場の医療人が感じ “感” している事」これを大切に受け留め この中から 「行政・医師会等が地域自治の住民を 好き方向に誘導・導く姿勢」この形付けを成す事、 「知って・変えて・続けて 成していく “事” 」これを “確” と 示す事、この内容 この筋道・方向付けを知る 良き機会を得る “事” に成ります。受け留め、出席下さい。

これ以上の 「逃げ、変に “強気の言動”、無言・隠蔽・誤魔化し 『己の “非” これを 組織の “事” とし 処す “事” 無し、無視の “姿” 』」は 無しとして下さい。

これらの日 “時” が 不可であれば、可能な限り時間を空けます、面談願います。毎回申しますが 申し付けにより 貴方 高木平氏の都合の付く時間に 高木医院 貴方の診療所に伺います。

平成 25 年 11 月 25 日 (月) Fax.にて 榛原医師会 執行部宛の “書” [No.50]、数年来 毎回発行前に 確認願っている “事” ですが [康寿診報 第 181 号 P1・送付文] 添付し 提示しました。榛原医師会の本幹に関わる内容が満載です。会員に配付 可・不可につき 即刻お伝え 願います。組織そのものが “責” 無く、“長” は 無論 執行部そのものが 内・外部に対し 話し合い・交渉事が出来ず “硬直状態” にある事、組織の衰退につながる事、許しては成りません。

即刻解除し ますは 私 加藤寿夫と オープンに 話しましょう。

Fax. で 構いません、早急に自らの “書” を 持ち 返答願います。

草々

平成 25 年 12 月 5 日 (木)

加藤寿夫

“事” は 書籍として 実名・事実にて 公開します。本書をはじめ 高木平氏・執行部宛の “書” 等は 私の書籍 [仮名: “Yellow Card” 「はじめに: 本書発行の事由」] などで 引用、必要に応じ全文を掲載する予定です。問題あれば 具体的にお伝え下さい。第一弾の発行日は 平成 25 年 12 月 27 日 (金) 予定です。

《「ヨウ化カリウム丸50mg」の備蓄を！》

不測の事態に備えるにあたって

本院では 1シート10錠100円にて配布しております。

緊急時すぐに内服できる場所(仏壇・神棚の引き出し等)へ保管しておくことをおすすめします。

ヨウ化カリの備蓄は 行政等に頼る事無く 自ら確保・備蓄し、対処の仕方まで、知っておく事が 必要です。

「ヨウ化カリウム丸50mg」は 劇薬ではありません
また 医師の処方の必要な 要処方薬でもありません。

「ヨウ化カリウム丸50mg」は 直径5mmの球形赤茶の塊で ピンク色のビニールの袋で 10錠ずつ包装されてます。

放射性ヨード「¹³¹I」に汚染された際は 40歳以下 特に20歳以下であれば 絶対的に以下の量、体重20kg以上は2錠 体重10kg以上は1錠 体重10kg未満は0.5錠の「ヨウ化カリウム丸50mg」を内服し、早急に汚染圏外に避難する事です。ヨードを含む造影剤による生命に関わるような副作用は起こりません、原則一回の服用とされますが、汚染された土壌から避難出来ない場合は 圏外に出れるまで 一日一回 上記容量の内服をおすすめします、40歳以上の方は ヨウ素剤の内服は必要ありません、ただし 妊婦については 上記の量の内服をして下さい、ただし専門家の意見では、半年前頃から 40歳以上の方にも 全員に内服させようとの動きが出てきています。

《「ホソネで話そう！ 糖尿病のABC」》

は 来年 平成 26 年 1 月上旬に 書店に並びます。

《看護師(若干名)募集のお知らせ》

時間 / 8:00 ~ 18:00(交代制・昼休み時間あり)・パート可

資格 / 経験者・各種資格所有者 優遇

これから資格取得を目指す方 サポート

応募 / 履歴書(写真添付)を連絡先を明記して 本院へ郵送

《インフルエンザ ワクチン 予防接種のお知らせ》

本院の 接種料金は 一回目 ¥3000 二回目 ¥2000 です。

小学生まで(12歳以下)の子供さんは 原則2回接種です。

65歳以上の方は、町・市の補助があり、各町・市の手続きの上、接種していただくと助成の対象となります。

《臨時休診のお知らせ》

お薬を切らさないように気を付け下さい。

12/30(月)・31(火)、新年 2014[平成]26年 1/2
(木)・3(金)・4(土)・14(火) 2/10(月)は 休診です。